事例No.	2481
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	特定非営利活動法人　美郷宝さがし探検隊

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・関係人口 ・観光

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

美郷の「宝」を継承！

出典

令和3年度優良事例表彰一覧

総務大臣賞

特定非営利活動法人美郷 宝さがし探検隊

美郷の「宝」を継承！



美郷の四季折々の総合案内所である「美郷ほたる館」。夏には、多くのほたるが飛び交い、ほたる観察ツアーを開催している。

事例の概要

美郷の「宝」である文化や地域資源を守り伝える活動を通じ、住民が「宝」を自信と誇りとして生活できる環境の創造を目的として、ＮＰＯ法人のメンバーを中心に、天然記念物に指定される「川田川のホタル」、地域の産業「梅」、段々畑の「高開の石積み」などの地域資源を活用し、１年を通してほたる観察ツアー、石積みライトアップ、そば作り体験等をはじめ多くのイベントを継続して行なうとともに、ゲンジボタルの保護のための河川の清掃や、石積みの修復作業などの地域の豊かな自然環境保護のための活動を行っている。

また、石積みの修復作業について徳島大学の大学院生が立ち上げた一般社団法人「石積み学校」と連携を行い、みんなの文化祭や石積みライトアップ等のイベント等について地元の若い世代が新しく立ち上げたNPO法人Taneと連携するなど、活動の持続性が大いに期待できる。



にほんの里100選にも選ばれた高開の石積み。冬には幻想的にライトアップされる。

評価のポイント

美郷宝さがし探検隊の活動は、平成10年、旧美郷村時代に遡る。国の天然記念物のほたるを資源とする美郷ほたるまつりは昭和62年に始まっており、村の職員を中心に活動をしていたが、平成12年に村が拠点として美郷ほたる館を整備したことがきっかけで、活動が活発化した。その後村に来訪した徳島文理大学の教員が高開地区の段々畑の石積みの見事さを指摘し、地元でも貴重な遺産と認識されるようになる。

平成16年に美郷村を含む4町村が合併して吉野川市が生まれ、翌17年には高開の石積みが整備され、所有者が石積みにシバザクラを植え始めた。村役場がなくなり探検隊は商工会が預かる形になったが、その後市がほたる館を指定管理にする方針を打ち出したことを機に、平成22年に探検隊をNPO法人として組織化、平成23年からほたる館の指定管理を受けることとし、現在までその体制は続いている。

美郷宝さがし探検隊は、1月から順に炭焼き体験、梅の花まつり、石積みシバザクラまつり、ほたる祭り、川遊び体験、河童教室、そば作り体験、みんなの文化祭、石積み学校、梅酒まつり、石積みライトアップなど、きわめて多くの催しを支えており、イベント以外にも川田川の清掃活動、石積みの修復を外部の人の参加も交えて行っている。

大学、企業等との交流事業も積極的に行っており、徳島文理大学、徳島大学、四国大学等の大学や、いろはす、アサヒビール、日亜化学等の企業との連携プロジェクトなどを実施している。中でも、石積みに通っていた徳島大学の大学院生が一般社団法人「石積み学校」を立ち上げ、美郷を中心に企業の研修等を巻き込んで活動を始め、年２回石積み学校を開催していることは特筆すべきことである。

これだけのイベントを支えているNPOの主要メンバーは15人程度であり、イベント毎に５～10人程度が役割分担している。これまでの長期にわたる活動は極めて貴重であるが、この主要メンバーはほとんど70歳前後であり、これだけの活動を持続していけるか危ぶまれることもあった。しかし昨年、みんなの文化祭や石積みライトアップを手伝う地元の若い世代を中心に新しいNPO法人Taneが結成され、連携が始まったことにより、活動の持続性が大いに期待できるようになった。

山間の過疎地域で地域のNPO法人を中心に、地域の宝を磨くこれだけ多くのイベントが続けられている例はあまり知らない。これだけの活動の継続は簡単なことではないが、昨年、若い世代の新しいNPO法人が誕生し、イベントの実施での両者の連携が生まれつつあることは、地域の宝を磨く作業の持続的発展に大きな力となると考える。これは普遍的に良い見本となる動きであり、この点を大きく評価したい。



梅の里でもある美郷。梅酒特区に認定されている美郷では毎年11月に、酒蔵（５蔵）および農家民宿（３軒）と連携して、美郷梅酒まつりが開催されている。



石積みの文化や職人の技・伝統を後世に引き継ごうと「一般社団法人　石積み学校」が生まれた。研修を受けたい企業と石積みを修復してほしい地域とをマッチングする学校。



「まぁーやってみんで」考えるよりやってみる精神で、地域に人を呼び交流している。興味を持つ若者も集い、地域活性化団体NPO法人Taneが生まれるきっかけにも貢献。

DATA

徳島県 吉野川市（よしのがわし）

団体名▶特定非営利活動法人　美郷宝さがし探検隊
所在地▶〒779-3051 徳島県吉野川市美郷字宗田82番地1
連絡先▶ TEL：0883-43-2888　FAX：0883-26-7010
E-mail：hotarukan@cnet-oe.ne.jp
URL：https://www.misato-hotarukan.jp/

【交通のご案内】

自動車▶徳島自動車道利用　脇町ＩＣより約20分
一般道利用（国道192号・国道193号）　徳島市より約1時間10分
鉄　道▶ＪＲ徳島線利用
徳島駅から阿波山川駅まで約1時間／阿波池田駅から阿波山川駅まで約1時間
阿波山川駅から車で約10分
航　路▶高松空港から車で約1時間
徳島阿波おどり空港から車で約1時間40分



● 国勢調査人口　（単位：人）

市町村名	昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
吉野川市	51,640	48,677	46,794	45,782	44,020	41,466
吉野川市（旧）美郷村	4,807	2,256	1,417	1,249	1,132	957

●人口増減率　（単位：%）

市町村名	H27/S35	H27/S55	H27/H12	H27/H17	H27/H22
吉野川市	-19.7	-14.8	-11.4	-9.4	-5.8
吉野川市（旧）美郷村	-80.1	-57.6	-32.5	-23.4	-15.5

● 高齢者・若年者比率（H27年）　（単位：%）

市町村名	高齢者比率	若年者比率
吉野川市	34.6	11.1
吉野川市（旧）美郷村	52.4	6.7